

2020 年度国際ユース作文コンテスト

【子どもの部】 文部科学大臣賞（最優秀賞）

君の未来は今日から始まる

（原文は英語）

ダッドリー・コジタ・セナナヤカ（12 歳）

スリランカ・コロンボ県

S. トーマス・カレッジ・マウント・ラビニア校

2020 年のコジへ

僕から手紙が来るなんて君は夢にも思わなかつただろう。でも、君の未来は今の僕の現実だから、僕は君に向けて書いている。

覚えているかい？ 10 年後には人々が火星に住んでいて、クリスマスにはどの子どもロケットベルトをサンタクロースにお願いするようになるかと君が予想していたことを。残念だけど、どちらもまだ実現していない。

でも、この数年で多くの変化があった。僕たちが思いもしなかつた変化がゆっくりと忍び寄ってきて、僕たちはそのことに気づきさえしなかつたけれど、振り返れば、僕たちの世界は大きく変化した。

昔は治らないと思われていた命にかかわる病気も、科学者たちによって、今では治せることがわかった。人工知能（AI）やロボットの助けを借りて医療が進歩し、今日では人々がその恩恵を受けている。

学校はこの 10 年間で大きく変化した。数学や英語、科学といった科目のほかに、自己認識、多様性、社会的責任がカリキュラムに取り入れられるようになった。その結果、人々は自分たちの決断を評価するために、それが「自分の利益になるか」「他人の利益になるか」「世界全体の利益になるか」という三つの基準をクリアできるかを考えるようになった。こうすることで、僕たちはこれまで以上にできる限り思いやりを持つようになった。

今の人々には笑顔があふれている。心の底から本当に幸せに見える。これを聞いて君も喜んでくれるだろうと思う。

戦争は過去のものだ。今でも意見の食い違いはあるけれど、誰もが同じだとは思わず、互いの違いを尊重することを人々は学んだ。疑いや偏見を持つのではなく、言葉を交わして互いを理解し合うようになった。こうして僕たちの社会は平和になった。

世界は今、これまでよりも環境のことを考えるようになった。「リデュース（減らす）・リユース（繰



り返し使う)・リサイクル(再資源化する)」という3Rの考え方が人々の一部となり、毎日の生活の中に取り入れられるようになった。けれど、そこで終わりではない。僕たちの世代はそれを土台にして、「リシンク(再考)・リイマジン(再発想)・リイノベイト(再発明)」というさらに進歩した3Rを取り入れ、一生懸命これに取り組んでいる。例えば、家を建てるために木を切って更地にするのではなく、木の枝の上に家が建つように上手く設計する。もちろん、どこの子どもたちもこのアイデアを喜んでいる!

ところで、君にはもっと個人的なことを伝えなければならない。10年前に君が植えたフトモモの苗木のことを覚えているかい? 毎日欠かさず水をあげていたこと、毎朝起きるとすぐに、若葉が芽を出したか急いで見に行っていたことを覚えているかい? 毎日一生懸命ものさしで測って、前の日より少しでも大きくなったか確かめていただろう? 大きくなっていると君は喜んで、そうでないと残念がっていたのを僕は覚えている。あれから10年が過ぎて君は今大学生になり、家から遠く離れた場所にいる。でも、あのフトモモの木はまだそこある。今ではずっと大きくなって頭の上に枝を広げ、甘そうな赤い実をたくさんつけている。君が進学のために家を出てから、この家は両親二人だけになった。君が家にいるときは、毎日友達とはしゃぎ回り、家に笑い声があふれていたが、それがなくなって寂しがっていた。でも今は、近所に小さな子どもたちがいて、放課後になると君の庭にやって来てはフトモモの実を取っている。君の両親の許可をもらって。この家でその子たちの笑い声が聞こえるようになり、楽しそうにワイワイしゃべる声を聞いて、両親の顔はもう一度明るくなった。

だから君もわかるように、どんな行いも、たとえどんなに小さくても、それはずっと後まで影響する。そこから恩恵が受けられることもあれば、そうでないこともあるけれど、大切なのはそんなことではない。大切なのは、とにかく僕たちが何か良いことをするということだ。

最後に君に伝えておきたい。今日の僕たちの行いは、より良い明日をつくることができる。だから、よく考えて行動しよう。君の未来は君が握っているのだから。

たくさんの愛をこめて
2030年のコジより